

第9回腸内細菌学会のご案内

メインテーマ：ヒトフローラ研究の進展 新しい潮流を探る

日 時 平成 17 年 5 月 26 日 (木)・27 日 (金)
会 場 東京大学弥生講堂「一条ホール」
東京都文京区弥生 1-1-1 TEL: 03-5841-8205(直)
会 長 桑田 有 (明治乳業株式会社)
参加費 会員 7,000 円 一般 8,000 円 学生 2,000 円
(予稿集会員無料配布、当日別売 1,000 円)
主 催 財団法人 日本ビフィズス菌センター
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12
TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068
ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/>

学会スケジュール

<5月26日(木)9:15~17:15>

開会の辞

一般演題発表(9:20~14:15)

2004年度JBF研究奨励賞受賞講演(14:20~15:15)

林 秀謙(理化学研究所) 「分子生物学的手法によるヒト大腸内細菌叢の解析」

細野 朗(日本大学) 「プロバイオティクスやプレバイオティクスによる免疫調節作用に関する研究」

特別講演 (15:45~16:30)

Lionel Bueno (INRA, Toulouse, France)

『Communications between microflora, probiotics and colonic epithelial cells: physiopathological consequences』

特別講演 (16:30~17:15)

Jan Kok (Groningen Univ., Netherlands)

『Recent progress in and future applications of LAB research』

参加者懇親会 17:30~ 参加費 2,000 円 場所: 東大生協内

<5月27日(金)10:00~16:40>

シンポジウム(10:00~14:30)

テーマ「フローラと病態を考える」

1. 「ヒトフローラ研究 現在と将来」 光岡知足(東京大学)

2. 「潰瘍性大腸炎における粘膜細菌 *Fusobacterium varium* の病原性」 大草敏史(順天堂大学)・他

3. 「The role of lactobacilli in vaginal health」 Sharon L. Hillier (Univ. of Pittsburgh, USA)

4. 「口腔フローラと病巣感染: 歯周疾患における短鎖脂肪酸の有害作用と全身疾患」 落合邦康(日本大学)・他

5. 「新生児期における腸内細菌叢定着の重要性」 北島博之(大阪府立母子保健総合医療センター)

6. 「腸粘膜上皮細胞の遺伝子発現に対するプロバイオティクス株及び常在性腸内細菌定着の影響」

島龍一郎(ヤクルト本社)・他

7. 「帝王切開出生マウス仔への細菌投与の影響: 人工ニップルを用いた方法」

矢島昌子(明治乳業)

特別講演 (15:00~15:45)

Stephanie Blum (Nestle Research Center, Switzerland)

『Probiotics in Europe Health associated benefits and safety considerations』

特別講演 (15:45~16:30)

五十君 静信 (国立医薬品食品衛生研究所)

『組換え微生物の安全性を考える』

閉会の辞

会場へのアクセス

地下鉄: 南北線「東大前駅」下車 徒歩1分 / 千代田線「根津駅」下車 徒歩8分

都バス: 御茶ノ水駅あるいは駒込駅乗車「農学部前」下車 徒歩1分